

6月8日(日)プレミアム ジュニア クリニック 講師のご紹介：

Conrad Singh (コンラド シン：国籍 / オーストラリア)



今回のクリニックの講師であるコンラド・シンコーチは、現在センターコートクラブ&スポーツ (Centercourt club & Sports) のテニス部門の CEO (最高経営責任者)です。

米国 ニュージャージー州に在ります、センターコートクラブ&スポーツは、アメリカ北東部でトップの民間スポーツアカデミーとして広く知られており、これまでに数多くの米国カレッジアイビーリーグ校、ディビジョン 1 校、グランドスラムのトップ選手を輩出しています。近年では、ウインブルドンジュニア選手権において、2021 年男子シングルスで Samir Banerjee 選手が優勝、2022 年では Michael Zheng 選手が準優勝を果たしました。女子においても、2019 年に Alexa Noel 選手が準優勝を挙げており、いずれの選手も当クラブが輩出した選手たちです。

コンラドコーチ自身もこれまでの指導キャリアの中で、世界ナンバー 1 の ITF ジュニアプレイヤーを含め、ナショナルトップレベル、カレッジプレイヤー、グランドスラム、デビスカップのプレイヤーに携わり育成してきました。彼は現在でも定期的にトップ 50 のプロフェッショナルプレイヤー達と仕事をしており、独自の実証済みの方法論を持っています。

コンラドはイノベーター(革新者) であり教育者でもあり、コーチやプロ選手、テニス業界において世界的に認められた専門家でありリーダーです。彼は 30 年以上にわたりあらゆるレベルで活動しており、世界中で活動してきました。

コンラドは、バイオメカニクスを専攻したスポーツ科学の学位と、中等教育、体育、科学の大学院学位を取得しており、オーストラリアのナショナル コーチング マニュアルの「Tennis Coaches Australia Biomechanics Module」を執筆しました。また、世界会議、スポーツ科学セミナー、国際サミット、オンラインコーチ教育プラットフォーム、ITF、グランドスラムなどで定期的に講師やプレゼンターを務めています。

ATPCA (オーストラリアテニスプロフェッショナルコーチスアソシエーション) においては、ATPCA マスター テニス プロフェッショナル、Tennis Australia レベル 3 - エリート ハイパフォーマンス コーチでもあります。

彼は、主に出身地のオーストラリアとアジアで 30 年以上にわたる選手育成の先駆者であり、「本質的なことを伝え、選手本人にとって自然なことを奨励し、選手個人に委ねる」(Teach what is essential, Encourage what is Natural, and Allow for Each Individual)という彼の指導モットーが日々の仕事の中心にあります。